

議会だより

No.145

☆6月定例会	14
☆7月臨時議会	15
☆議案等の審議結果	15
☆一般質問	16
☆村内視察	20
☆活動報告	21

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

6月定例会

6月定例会は、6月3日から10日まで8日間の会期で開催された。

地球温暖化防止やエアコン等の使用による節電の観点から、上着やネクタイの着用を個人の判断とするクールビズ対応で行った。

またコロナ感染が収束しない中、引き続き感染予防対策を徹底した。

本会議第1日目は、諸般の報告として例年同様に

・聖高原リゾート株

・株聖高原管理センターの経営状況に関する報告と、令和3年度の一般会計における繰越明許費計算書報告と議員派遣結果報告がなされたあと、

・承認案件

・条例改正議案

・その他議案

・令和4年度補正予算

の合計10件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程し

た議案等の詳細説明を提出者から受けた。

国保税及び介護保険料の減免に関する条例改正では厚生労働省の通知により新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免について、減免対象期限の延長等を行った。

補正予算では一般会計では4月の人事異動に関する人件費等の補正、また民生費ではコロナワクチン接種体制確保関連経費を、農林水産業費では元気づくり支援金事業によるコンバイン購入経費、農業機器等導入事業補助金の増額補正を行った。

教育費では小中学校における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費、中学校の給食調理器具購入経費、体育施設関連経費の増額補正を行った。

本会議2日目の8日には、一般質問を行い、7名の議員が村政の執行状況や今後の方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

新型コロナウイルス関連の質問としては、ワクチン接種の状況と今後の追加接種に向けての準備態勢に係る村の対応について、また村内での検査体制に関する質問がなされた。

また、補助金や支援金の支払いや公共料金の納付方法の状況、聖高原の公共施設の利用状況、有害鳥獣に関する村の対応、昨年執行された村長選挙に関する選挙違反への村長の説明責任についての質問、村内の道路環境や平成28年に発足したNPO法人「おみごと」の活動についてなど多岐にわたる質問がなされた。

今定例会も一般質問は通常より10分短縮し、45分とした。

当日は半分に制限した傍聴席が一時満席となるなど住民の関心が高かったものとなった。

本会議3日目である10日には、第1日目に上程

した議案等10件のほか、追加で提出された村営バス購入契約に関する議案の審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。また議員発議による国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書、女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書、義務教育費の国庫負担制度の維持拡充を求める意見書の提出についても可決された。なお、沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情については継続審査とした。

諸般の報告

○第10期聖高原リゾート株式会社経営状況に関する書類の報告

○第50期聖高原管理センターの経営状況に関する書類の報告について

○令和3年度麻績村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○議員派遣結果報告

○国民の祝日「海の日」

を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

○女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書の採択を求める陳情

○沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

○義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の採択を求める陳情

(社会文教委員会付託)

条例の改正

○麻績村新型コロナウイルス

- 一般会計補正 (第1号)
- 水道事業特別会計補正 (第1号)
- 議員発議**
- 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出
- 女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書の提出
- 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出
- 議会議員の派遣

**令和4年度
補正予算**

新型コロナウイルスの影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例

麻績村新型コロナウイルス感染症に係る介護保険料の減免措置の特例に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症対策に係る国の地方創生臨時交付金を財源とした事業を推進するため7月25日に令和4年度第2回目の臨時議会が開催された。総務費・民生費・衛生費・教育費において早急に予算の補正が必要となり、7月25日に臨時議会が開催された。総務費では新型コロナウイルス感染症対応地域支えあい生活支援商品券(第3弾追加分)とそれに係る経費の補正、衛生費では村指定のゴミ袋の材料費高騰による補助金また民生費と教育費では高校生に対する通学補助、保育園と小中学校に係る給食材料費の不足分と地域部活動推進事業に係る指導員等の謝礼などが計上

7月臨時議会

新型コロナウイルス感染症対策に係る国の地方創生臨時交付金を財源とした事業を推進するため7月25日に令和4年度第2回目の臨時議会が開催された。総務費・民生費・衛生費・教育費において早急に予算の補正が必要となり、7月25日に臨時議会が開催された。総務費では新型コロナウイルス感染症対応地域支えあい生活支援商品券(第3弾追加分)とそれに係る経費の補正、衛生費では村指定のゴミ袋の材料費高騰による補助金また民生費と教育費では高校生に対する通学補助、保育園と小中学校に係る給食材料費の不足分と地域部活動推進事業に係る指導員等の謝礼などが計上

専決処分の承認

- 一般会計補正 (第2号)

**令和4年度
補正予算**

- 一般会計補正 (第1号)



【議案等の審議結果】

* 案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

案件種別	議案番号	名称	議員名と賛否							
			飯森茂季	塚原利彦	宮下 朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水 清	
【6月定例会】										
承認	承認1号	令和3年度 一般会計補正予算 (第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認2号	令和3年度 国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認3号	令和3年度 聖高限別荘地地上権分譲事業特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認4号	村税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認5号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案1号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	新型コロナウイルス感染症に係る介護保険料の減免措置の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	令和4年度 一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案5号	令和4年度 水道事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案6号	令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応村営バス購入契約	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出	○	×	○	○	○	×	○	○
発議	発議2号	女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議3号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議4号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○	○
【7月臨時会】										
承認	承認1号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度 一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案1号	令和4年度 一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○

一 般 質 問

質問事項

宮下 朗

- 役場の職員体制と育成・教育について
- 村民への補助金、支援金等の支払方法と公共料金の納付について
- 文化財等の保護・継承について

茂木 泰男

- 聖高原にある公共施設の利用状況について

飯森 寛志

- 森林経営管理今後のロードマップについて
- 有害鳥獣対策について
- 遊具施設地のトイレ設置について

宮川 秀俊

- 村長選での違反行為について
- 学校と地域コミュニティについて
- DXの取り組みについて

清水 清

- 村長の村政運営について
- 村内の道路環境について
- 教育長就任に当たって

飯森 茂孝

- 新型コロナウイルス対策について
- 麻績村福祉センター「みたらしの湯」施設について
- 村に委託された聖高原駅について
- 若者住宅地への公園設置について

塚原 利彦

- NPO法人「おみごと」について
- 公共交通のあり方と今後について
- 村長の公約である「村民参加の村づくり」について

子育て支援室・デジタル推進室等の設置の考えは

職員数が限られているので 難しいが、検討したい



宮下 朗 議員

問 令和四年度における、麻績村役場の職員体制は適正か。

答 個々の職務内容により繁忙期にはらつきが生じたり、選挙事務や国の制度改正の対応により臨時的な業務が生じる。個々の事務能力や、事業内容を勘案する中で、職員の適正配置に努めたい。

問 塚原村長が公約に掲げる「子育て環境の充実」に向けて、子育て支援課または支援室の設置予定は。

答 現在は、住民課の保健師と教育委員会の子育てコーディネーター等々が、横の連絡を取りながら子育て支援の充実を図っている。また、保小中の途切れのない支援を図るために、保育園長あるいは

小中学校の校長等と定期的な連絡会を行っている。専門的な支援者等を設置したいが、現状では職員数の不足等から設置は難しい。

問 庁内のデジタル化推進等、課をまたいでの指導、協力体制は。

答 職員の指導については所属課の課長が管理職として部下の指導を行っている。課をまたいでの協力体制については、選挙事務、村内でのイベント等、全職員で協力し合いながら事業を実施している。デジタル推進についても、課をまたいでの事業実施になる。基本的には係長が中心になって事業を進めていくが、全課で連絡を取り合い、連携の中で進めていきたい。

問 朝日村等では、国の助成金で外部人材を採用し、デジタル推進係を設置したと聞く、麻績村の考えは。

答 庁内でどの制度が良いか検討し、できるだけ進めたい。

聖高原にある野球場・体育館等の利用状況について

野球場は週末に、体育館はグループ・家族の皆様にも有効活用されている

茂木 泰男 議員



問 聖高原にある公共施設の利用・活用状況は。

答 聖グラウンド・体育館等の年間利用状況は、5月から10月までの土曜日・日曜日につき少年野球の練習に利用されており、聖体育館についてはグループやファミリーが中心に3、4グループが活用し約40名から50名が利用している。また実績ということではないが聖体育館については、突発的な集中豪雨、災害発生時に観光客、別荘の滞在者の避難施設としての活用も想定している。

問 グラウンドや体育館を学生の合宿等に利用することを学校側に問いかけたことがあるのか。

答 現在、聖高原の避

暑地という立地条件を生かし、特に夏場のスポーツ合宿などの誘致に努めている。

問 この10年間に合宿の実績はあるのか。

答 8年前ぐらいに合宿での利用実績はある。又、小学校等に限らず、村内外にもシーイングルテンおみと協力をし合宿とセットでスポーツ合宿で利用いただくような宣伝等はしている。

問 グラウンド周辺の環境整備は定期的に行っているのか。

答 グラウンドを含め聖高原全体の環境整備は施設内外の草刈り、枝払い等「聖高原リゾート(株)」に委託し、定期的に行っている。

問 グラウンド駐車場が狭く利用者は大変不便だと思うが。

答 利用者からは特に不便だとの声は聞いていない。引き続き利用者の皆様に支障のないよう維持管理に努めていく。また、周辺は保安林になっており拡大はむずかしい状況である。

有害鳥獣対策、捕獲後のジビエカー等導入について

猟友会からの要望があり村内での活用に向け手続き中

飯森 寛志 議員



問 長野県第二種特定鳥獣管理計画令和3年度から5か年計画の第5次有害鳥獣対策について、特にニホンジカに対し麻績村内の生息数、捕獲目標、方法、隣接自治体との連携、猟友会員確保と育成計画、状況は。

答 麻績村独自の生息数は把握していない。長野県第5次ニホンジカ管理計画では、麻績村の推定個体数は736頭。令和4年度の捕獲目標は110頭。捕獲方法はわな、猟銃。囲いわなについては、実施隊等と協議検討していく。隣接自治体との駆除共同活動は行った実績は無い、共同活動の予定等は無いが、提案などがあれば実施隊と協議していく。猟友会員確保について、新規に猟免許取得を検討されている方には、

試験、講習会費用などの助成金の活用を勧め支援していく。既に免許取得し活動されている隊員に対し負担を軽減するとともに支援内容を充実に向け、新規狩猟者の育成も合わせて検討中。

問 狩猟捕獲後の処理について、残渣処理施設、ジビエカーの導入は。

答 ジビエカーの導入には、隣村の状況を調査研究しているが、5月中旬に、県の森林づくり推進課鳥獣対策室を通じ民間事情者のジビエカー活用の打診があり、事業者、猟友会、担当者にて協議し活用の手続きを進めている。ジビエの有効活用を進め埋却処分する狩猟会員の負担軽減、捕獲頭数の増加に期待し、ジビエカーと近隣食肉加工施設と持ち込みを並行して行う。ジビエカー独自導入は多額の費用が必要の為、引き続き調査研究を進める。近隣の食肉加工施設への持ち込みには、本年度運搬費用の補助の引き上げをした。

村長選での違反行為について 村民への説明責任は

不信感を与えた行為についてお詫びする



宮川 秀俊 議員

問 村長選で選対事務長が書類送検されたとのことだが、新聞報道でのコメントは「真摯に受け止めた」と一言のみであった。果たしてこれで村民への説明責任がなされたと考えているのか。

答 後援会の選挙事務は不適切だった。村民の皆さんに不信感を与えた行為について、深くお詫びする。安心・安全にすごせる村づくりに向け、全身全霊で事業推進していく。誠心誠意務めていきたい。

問 違法性は認識していたのか。

答 後援会の担当者は認識していなかった。選挙ビラ・ポスターは後援会長が掲示責任者である。

問 選挙経験者がいたにもかかわらず、なぜ

止めようとしなかったのか。

答 後援会に任せていたが私共々、認識が薄かったということ、理解いただきたい。

問 選挙ではポスター・ビラ等に公金が使われており、承知の上で後援会の幹部が行っていたとするならば、看過できない。有権者に対し、きちんと会見を開き、けじめをつけた上で村政運営に当たるべきではないか。

答 今後の村づくりに向け、村長としての考え方を伝えていきたい。

問 次回の選挙前には公選法の周知徹底を図るべきではないか。

答 選挙としては選挙運動等において注意すべき点については事前説明会で話されている。立候補者へは「選挙運動早わかり」という冊子も配布している。村民への周知徹底は次回令和7年に選挙が予定されているので、分かりやすい資料が作成できれば検討していきたいと思う。

国道403号及び地方道丸子信州新線の未改良箇所について

松本建設事務所と連携、地域の安心・安全に務めていく



清水 清 議員

問 国道403号下井堀～中島橋間約2・6km未改良区間の改良工事の予定はないか。

答 松本建設事務所との協議の中では、当区間は令和4年度から調査測量をし、令和5年度以降の計画に定める事業推進していく。

問 未改良箇所でも過去5人の交通死亡事故が発生しており、特養老サンライフおみ入口付近では何件かの事故も発生している。道路幅員が狭く、センターラインが引かれていない箇所や道路側線がやっとならされている状況でもある。現況、人が歩ける環境でないが、今後の対応は。

答 危険が伴う路線であると認識している。「国道403号千曲安曇野間道路整備促進期成同盟会」が組織され

ており構成市村で整備促進に取り組んでいる。

問 長野自動車道や国道19号の通行止めの際の迂回路でもあり、喫緊の対応案件だと考える。参議院選挙・知事選挙、来春は県議会議員選挙もある。地域の安全・安心に向け、政治力を発揮していただきたい。

答 次期県5ヶ年計画策定に向け松本地域の市村長が県知事と意見をかわした。その際、麻績村からは国道403号の早期改良と篠ノ井線の高速化の2点について提案した。

問 国道（本町）聖高原・県道の改良予定は。

答 国道403号は、令和4年度に梶浦地籍で拡幅工事に着手し、その後本町交差点から聖高原方面に向けて物件調査用地買収に着手、令和5年度以降も用地買収を進め道路改良を促進していく。主要地方道丸子信州新線は本町地籍で一部本体工事の実施、令和5年度以降引き続き整備を進めて行く。

新型コロナウイルス感染症対策についての今後の対策は

感染や重症化を防ぐための 4回目のワクチン接種対象者は1287人

飯森 茂孝 議員



問 新型コロナウイルス感染予防と発症した際の重症化を防ぐための4回目のワクチン接種が計画されているが、接種に向けての進捗状況は。

答 4回目のワクチン接種対象者は合計1287人で準備を進めている。接種の時期は7月上旬から開始しお盆前には接種が終了する見込みである。集団接種は麻績村保健センター、個別接種は玉井医院を予定。サンライフおみの入所者はサンライフおみでの接種となる。

問 11歳以下のワクチン接種の取り組みについての考えは。

答 5歳から11歳までの接種は、令和4年3月から9月にかけて随時接種券を発送し個別

接種で対応、現在進んでいる。

問 コロナ感染の有無に関するPCR検査及び抗原反応検査を受けることのできる施設は村内に用意されているか。

答 村内にはPCR検査のできる施設はなく、全て抗原反応検査になる。抗原反応検査のできる施設は、村内では玉井医院と土屋薬局のみ。ただし玉井医院ではコロナの疑いがあり症状のある方のみが検査を受けられる状況。土屋薬局では感染しているか心配で検査を受けたい方や、陰性証明の提出を求められている方への実施となっている。

問 感染者が出た場合の感染症対策は。

答 感染者の把握は保健所が行っているので役場では把握できない。保健所からの情報が入った場合は、コロナウイルス感染症対策本部を開設し対応方法の確認や予防対策を行う。

「NPO法人おみごと」を、村として農業政策上、どう位置づけるか

これまで通り、協力隊農業班の研修の受け皿としていきたい

塚原 利彦 議員



問 これまでの「NPOおみごと」の活動を振り返って、村の農業振興に対する評価は。

答 農業研修生として地域おこし協力隊を受け入れ、農地の遊休荒廃化の抑止を目的に活動しているが、村民から耕作依頼を受けた農地すべてを引き受けている訳ではない。また、研修生の協力隊員は、全員が残って就農してはいないが一定の成果は上がっている。特に、上井堀地区のリング農家が後継者不足でリングの木を切ることを回避できたことは、大きな成果である。

問 これまでに復活させた耕作放棄地の面積と、そこで作付け・生産しているものは何か。

答 11町9反8畝で、

リング、ブドウ、水稲、ソバなど多種にわたっている。

問 NPO研修を経て、村内で自立・就農している協力隊員数は。逆に中途でやめられた人の数と、その理由は。

答 就農されている方は6名、また残らなかった方も6名である。やめられた理由は把握しているが答弁は控えさせていただきます。

問 村からNPOへの財政支援の内容は。

答 消耗品、燃料、農薬、苗等の資材費が年間200〜500万円。そして指導料、機械の管理等のサポート面でも年間200〜500万円ほどを支出している。

問 今後、NPOの活動対象地域を全村的に広げる考えは。

答 現時点では難しい。村の農業政策上、このNPO法人の位置づけをどう考えるか。

答 これまで通り、地域おこし協力隊農業班の研修の受け皿としていきたい。

村内視察

6月定例議会開催期間の6月9日、6件の視察を行った。

①桑山地区移住定住促進住宅、4軒分のすでに取得地と取得予定地。

②移住者向けお試しし住宅（W3号導人済み）、二階建ての内一階のみ使用。昨年は10連泊の方も居られた。

③道路拡幅工事（下井堀西地区）長さ約300m、5m中に拡幅、地元要請により本年度着手。

④道路拡幅、高畑野口線（R4年度終了予定）

⑤麻績川、R2年度台風19号被害地復旧現場。

⑥宮本神明宮前、福祉センター横駐車場予定地・村道拡幅予定道路長さ約280m。

小東地区、若者定住促進住宅は、すでに、9戸の世帯が入居しており生活インフラには問題は生じていない。また、現状進入口は南よりの一本のみである。道

路拡幅工事予定地は、住民からの要望により協議、合意があつて今年度より着手建設が始まる。緊急車両通行が容易になり、住民の安心安全が確保できる。

宮本神明宮前、福祉センター横の駐車場予定地は、文化財調査（本年9月より）後の着手となる、発掘調査時に重要出土品等が出てくれば調査延長となり工事着手は遅れる可能性がある。



お試し住宅



下井堀道路拡幅工事箇所



桑山地区移住定住促進住宅



宮本地区福祉センター横駐車場予定地

**8月7日は
長野県知事選挙の
投票日です！**

**投票時間
午前7時～
午後6時**



会期中の 常任委員会

令和3年より各定例会の会期を延長し、会期中に「総務経済」「社会文教」の常任委員会を開催し、従来の請願・陳情の審議だけでなく、委員会の所管事務に関する調査や、各常任委員会において今年度の推進事業などの検討などを行った。

総務経済委員会

本年度全議員から議会で
の検討テーマを募集し、その
中から「議会のYou Tube
(ユーチューブ)配信」を選
択し、来年度からの運用開
始を目指し、検討をしてい
くこととした。

社会文教委員会

常任委員会活動の具体的
実践に向けて、村政や議会
に関する課題の洗い出しか
ら、調査実施につなげるた
めの話し合いを行い、検討

した結果、当委員会では
「男女共同参画」について
取り上げる事を決めた。
現在公表されている「麻
績村男女共同参画計画」の
内容の学習と理解をまず行
い、その後できれば先進自
治体への視察を今年中に実
施して、条例制定を見据え
た調査結果を出せるよう活
動することとした。



私たちは こんな活動をしています

5月

- ・議会定例連絡会
- ・例月出納検査
- ・議会運営委員会
- ・安曇野防犯協会監査
- ・篠ノ井線松本地域活性化協議会
- ・町村議会議長・副議長研修会
- ・中信地区町村議会議長会議

6月

- ・青木・麻績インター・新町間
県道整備促進期成同盟会総会監
査
- ・定例議会
- ・議会全員協議会
- ・総務経済委員会
- ・社会文教委員会
- ・議会現地視察
- ・例月出納検査
- ・大町麻績インター千曲線整備
促進期成同盟会監査
- ・松本糸魚川連絡道路建設推進
議員連盟長野県連絡会議監査
- ・中部縦貫自動車道建設促進期

7月

- ・成同盟総会
- ・東筑摩郡議長会臨時総会
- ・臨時議会
- ・議会定例連絡会
- ・松本広域連合臨時議会
- ・松本糸魚川連絡道路建設促進
協議会総会
- ・大町麻績インター千曲線整備
促進期成同盟会総会
- ・令和3年度決算審査
- ・例月出納検査
- ・議会だより編集委員会
- ・青木・麻績インター・新町間
県道整備促進期成同盟会総会

編集委員

- 飯森茂孝
塚原利彦
宮下朗
茂木泰男